

(仮称) 全国女子会設立準備委員会

日 時：平成25年12月20日（金）13：30～17：00

会 場：岡山県・ゆうあいセンター中会議室

参加者：13名・内訳は別添資料参照

内 容：以下参照

1. 会議の流れと趣旨説明

岐阜県クラブアドバイザー 岸田美也子

○本年5月、新潟県での「第7回全国スポーツクラブ会議」の際、分科会女性グループにおいて『今後も、全国の女性クラブ関係者が集まる機会をつくってほしい』と提案が出た。その際、岐阜県ですでにクラマネ女子会を開催しているノウハウを生かし、岸田に声をあげてほしいと意見が上がった。岸田含む6名の発起人で、組織化に向けて動き出す。

○本年8月、東京都にて「第1回全国総合型地域スポーツクラブ女子マネセミナー」を開催。「女の力」をテーマに、宮嶋泰子氏が講演。全国から26名が参加。

（宮嶋氏から、引き続き当会のオブザーバーとなっていただけ申し出を受ける）

※SC全国ネットワーク内の組織とするかどうかは、今後意見を聞きながら決定する。
現在、「クラブネッツ」や「クラブリンク JAPAN」など様々な総合型クラブ支援組織があるが、文科省が認知しているのはSC全国ネットワークのみである。しかし、SC全国ネットワークに加盟すると日体協の縛りが発生するので、ざっくりばらんな会議となりにくいデメリットがある。SC全国ネットワーク桑田会長からは、「いいことであり、是非立ち上げてほしい」と返事をいただいている。

ちなみに、SC全国ネットワーク常任幹事会では「青年部」を設立する動きがある。

2. 意見交換

○旅費について

・この女子会が確立した組織となり、日体協や toto から旅費も認められるような組織としていきたい。

→まずは SC 全国ネットワークや文科省の会議など、全国的な会議の場を借りて PR をしてはどうか。

・上の人々の理解があると、このような場にも行きやすい。

○資金源について

・ゼロスタートなので、会費や参加費を徴収する必要があると思う。

○会議のあり方について

・年齢層によっては来づらい方もいるのでは。

・「いつ会議があるかわからない」というのは難しい。「毎年（1、2回）この日に開催」というのを決めておくと資金も時間もやりくりしやすい。

- ・会議に行かないと取り残された感がある。情報はメールやFBでもいいので小まめに流してほしい

○女性ならではの思い

- ・女性は、地域密着である分、その地域の情報に限定されすぎている。「お金を出してまで県外に行くのは…」という人が多い。
- ・全国でも男性の会長・理事長が大半だが、イベントなどで挨拶だけして帰るような肩書だけの男性会長が非常に多い。「自分はんぼっている女子クラブ関係者のために頑張るから、会長は男性のために頑張ってくれ」と言いたい。

→女性がトップなクラブがもっと増えるといいと思う。

→「素晴らしい会長だったら必死で支えるけど、お飾りの会長ならば自分がやった方が早い！」と言えるだけの馬力のある女性が、この会に集まっている。

- ・田舎ではいまだに「女性の癖に」という偏見がある。女性と男性が同じことを主張しても、響き方が全く違うのがもどかしい。

→日の目を浴びることが少ない、現場で頑張る女性に光を当てたい。

3. なでしこ広場について

公益財団法人日本サッカー協会・女子部 亀井拓夫氏

○11月8日（金）、国立代々木競技場フットサルコートにて『なでしこ広場』キックオフイベントを開催した。その際、視察に来ていた宮嶋泰子氏より、当会のことを教えてもらい、宣伝にやってきた。

<『なでしこ広場』とは>

民間フットサル施設やサッカースクール・チーム、総合型クラブなどが定期的を開催する女性向けのサッカースクールや合同練習会などを、日本サッカー協会が『なでしこひろば』と認定、全国に展開していく女子サッカー普及推進の新事業である。

→①月1回程度の活動ができること

②JFA D級ライセンスを取得している指導者がいること

上記2条件が整えば、JFAに申請可能。将来的には、全国1市町村に1か所は育成したい。（本年度は、現時点で約30カ所の申請有）第1回目の開催には、参加者呼び込みのため、JFAからゲストを派遣してくれることもある。また、参加者にはスタンプカードが配られ、5回参加するとリストバンドがもらえる。

→『なでしこ広場』については、Jリーグ（JFL、J2、J1）の各チーム社長及びアカデミーダイレクターには話をしている。『なでしこ広場』について話が通じない、というJチームについてはJFAまで連絡してほしい。

また、各都道府県サッカー協会には話をして回ったので必ず知っている。

- ・平成17年1月、日本サッカー協会元会長・川淵三郎氏は「平成42年までに、女子ワールドカップを日本で開催し、その年までに世界一にする」と宣言。「女性監督の育成にも力を入れる」と明言した。

→それを受け、平成19年6月にJFAより、女子サッカーに特化した「なでしこ vision」

が発表され、

- ①平成27年までに女子プレーヤーを30万人にする（普及）
- ②才能の発掘と育成のシステムの強化（育成）
- ③平成27年女子W杯での優勝（強化）

の3つの目標が掲げられた。『なでしこ広場』は、上記ビジョンを達成するための事業である。

- ・『なでしこ広場』では、プレーヤー以上に「理解者」の増加を目指している。
 - ・欧米は男女平等意識が強く、男子チームに1人は必ず女子プレーヤーがいる。
 - ・JFAでは、サッカー普及のためにフェスティバルを実施しているが、サッカー経験者しか来ないのが課題である。（フェスティバルは、各都道府県サッカー協会に補助金を出して実施。平成24年度は年間288回開催。）
- 本年度より新規事業として開催した「JFA・キリンレディース/ガールズサッカーフェスティバル2013」は、全国5会場全てに佐々木監督が参加。毎回600～700名程の参加があった。
- ・平成26年には、女性限定の指導者講習会も計画している。
 - ・「なでしこ普及コーディネーター」については、上記までの話を喋れるような熱意ある普及者を募る。普及活動における交通費、会議費の助成についてはJFA内部で承認済。好事例をつくり、慎重に進める予定。
 - ・SC全国ネットワーク桑田会長にも「ぜひ総合型クラブに話をしてほしい」と言われたが、日体協に好意的な返事をいただけなかった。日体協の許可を得次第、SC全国ネットワークの場でも情報提供したい。

3. 質疑応答、意見交換

Q1>同地域より複数申請があった場合は？

A1>>JFAとしては1地域に複数広場があってもいいと思っている。1つの広場が何日も継続して活動できないので、参加者側から見れば複数の広場がある方がありがたいのではないかと。ただし、参加者の囲い込みなど、違反行為があまりに目立つ広場についてはJFAから指導が入る。また、スタンプカードについては、地域問わずどこの広場に行ってもスタンプを押してもらえるようになっている。

Q2>「なでしこ普及コーディネーター」は、JFA関係者が行うのか？

A2>>詳しい条件は未定だが、各都道府県サッカー協会に何かしらの関係があることが最低条件。重役よりは、フットワークの軽い人に担ってほしい。

Q3>月1回の開催ができなかった場合は？

A3>>1ヶ月に1回の活動で、雨で会場が使用できなかった、参加者の集まりが悪かったといった場合はやむを得ない場合は仕方ない。また、『なでしこ広場』はあくまでも定期活動であるため、イベント化することはやめてほしい。

Q4>新しく女子サッカー教室を開催したいというクラブがいるが、『なでしこ広場』

とすることは可能か？

A 4>>クラブ入会費を払わずに、クラブ会員ではない一般住民も参加できるのであれば可能。(とにかく女子サッカーへのハードルを低くすることが事業の目的)

Q 5>>3つのクラブがタイアップして、3か所で交互に開催するのは有りか？

A 5>>可能。「クーバー・コーチング・ジャパン」が似たような方法を取っている。

Q 6>>総合型クラブが開催する場合、指導者謝金はクラブ持ちか？また、ゲストを招く際の謝金、交通費はJFAが出してくれるのか？

A 6>>出します。平成26年度は、約20回分のゲスト派遣の予算を付けている。

Q 7>>岡山県には「湯郷ベル」がある。県トップアスリート事業(年1回)では来てくれるのに、総合型クラブが単独で依頼をすると相手にしてくれない…

A 7>>選手は行きたいのにフロントがそれを許してくれないケースは全国でも耳にする。フロントの母体が弱いことは今後の課題である。

Q 8>>施設数が限られているのが懸念されるが…

A 8>>将来的には女子優先のサッカー施設を増やせるまでになりたい。兵庫県では、神戸市が土地を提供し、公益財団法人神戸市スポーツ教育協会・一般社団法人兵庫県サッカー協会が事業主体となり「神戸レディースフットボールセンター」を開設した。平日午前中にはINAC神戸が練習場所としても利用している。1面のみだが、有効活用されている。

- ・田舎のように過疎化の進む地では、11人選手が揃わず、すでに男女混合で活動している。また、サッカーよりもフットサルの方が盛ん。
- フットサル禁止の体育館が多いので、何とかしてほしい。
- ・地元で強いJチームがあると、女子サッカーも盛り上がると思う。

4. 今後の予定

・平成26年2月までに、関東圏(東京都)で開催を予定。後日、岸田より連絡有。

→次回は、

- ①当会の名称
 - ②会費の徴収について
- を主な議題とする予定。

